

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年 2月 19日

事業所名 まなび ふたば

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		整理整頓を心掛けている	プレースペースと荷物整理のスペースが被っているため、荷物整理する利用者を優先するようしっかりとした声掛けが必要だと思う。 本棚が乱れやすいので元の場所がひと目で分かるよう分類別に色分けしたりする
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			職員で体調不良者が出た場合、職員数がギリギリになる点 →体調管理を万全に行うとともに、他事業所と協力して十分な職員数を確保しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		時計の針の色に合わせて利用者の帰宅目安時間を記載している。 遊ぶ場所と学習する場所を、マットで敷くことでわかりやすくしている。 トイレ内手すりがありますので立ち上がる際も手すりを持ったまま立ち上がることが出来ます。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		送迎表に利用者の来所目安時間を記載している。	ひとりの業務が多くならないように業務の引き継ぎを進める。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者・職員に毎年アンケート調査を実施し、結果を公表している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		保護者・職員に毎年アンケート調査を実施し、結果を公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>			第三者評価を受ける機会を確保することが課題 →他社の事業者や相談支援専門員から評価をいただく機会があります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		社内研修の他に、動画研修等も充実している。 毎月職員間で研修を行っています。 個々でも関係図書を購入し自己研鑽に役立っている	無理がない程度で研修の機会が増えると良いと思います。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		使用教材に関する意見をLINEなどでいつでも言える。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		定期的に見直し適切な教材を与えるようにしている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝のミーティングで、当日の支援内容を職員同士で確認している。 毎日、職員による役割分担を行うとともに、支援の振り返り機会を設けている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日、職員による役割分担を行うとともに、支援の振り返り機会を設けている。	時間帯によっては学習支援が不十分になってしまう利用者がある。 →利用者のいる時間が重なった場合は、支援の段取りを行い、どの利用者にも支援が行き渡るようにします。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に見直し適切な教材を与えるようにしている		

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		学校や相談支援事業所との連携を行なっている。	はなまるグループ以外の別事業所との連携が取りづらくなっていると思う。 →担当者会議などで、他社の職員と情報交換する機会があります。今後、より積極的に連携を深めてまいります。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校や相談支援事業所との連携を行なっている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		学校や相談支援事業所との連携を行なっている。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		障がいのない子どもと関わる機会をいかに設けるかが課題 →地域交流の機会を増やし、その中で様々な人と関わる機会を作っております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に学校や家での様子をヒアリングしている。 送迎の際、文章では伝えきれない細かい部分を口頭で直接説明している。 LINEを使う事により早く確実に近況を把握出来るようにしている	

保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	保護者様に伝える際に、誤解を招かない伝え方や出来ているところを誉める伝え方をしています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○	LINEで気軽に相談できる体制を整えている。 送迎時に出来るだけお話し近況を把握出来るようにしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会の開催が求められる。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○	LINEで気軽に相談できる体制を整えている。 送迎時に出来るだけお話し近況を把握出来るようにしている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	イベントの様子などを伝えていきます。 LINEやブログなどで情報発信を行なっている。	
	35	個人情報に十分注意している		○	ブログ用写真は、保護者から写真のアップロードが許可されていない利用者が写っていないか等ダブルチェックしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域住民の招待はないが、こども食堂への参加など地域交流の機会を確保している。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	全体ミーティングで非常時対応を話し合っている。	いかに保護者に対し緊急時マニュアルを周知するかが課題となる 目につく位置に災害時対応に関するレジュメを掲示しても良いと思う。	

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	子どもがいた場合を想定しながら、実際の避難ルート、避難場所を確認している。避難訓練以外にもタブレットなどを活用し防災の勉強をしています。毎年、2回以上の防災訓練を実施している。	実際の災害時にどれだけ活かせるかが分からない為、シミュレーションを定期的に行う必要があります。非常口が一か所しかないので脱出経路の確保
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	定期的な研修で周知出来ている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		